

平成28年度の重点課題

- 全校
多くの学年で「長座体前屈」、「立ち幅跳び」に課題があった。
- 学年
2年生と6年生は、多くの種目で平均を下回っていた。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 児童が柔軟性を自分で測ることができる「立位体前屈のチャレンジコーナー」を設置したり、全校で柔軟運動に取り組んだりすることで、柔軟性を高める運動への意欲付けを図った。
- 様々な技を載せた検定カード(なわとびチャレンジカード)を全校に配布し、目標をもって運動に取り組むことで、跳躍力の向上を図った。
- 外部講師を招聘し、跳び方の専門的な指導を受けることで、運動に対する意欲付けや跳躍力の向上を図った。
- ドッチボール大会やなわとび大会などの体育的行事を行うことで、児童が運動に親しめるようにした。

平成29年度新体力テストの結果(県平均値(平成28年度)・全国平均値(平成27年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	11.64	14.48	27.96	25.32	15.52	11.40	108.88	8.68	32.04	第1学年	10.84	11.53	28.58	23.42	16.00	12.24	100.84	5.79	30.37
第2学年	11.85	16.77	27.27	35.42	38.77	10.18	131.92	15.08	43.04	第2学年	12.54	14.58	31.42	32.25	26.25	10.36	121.63	8.83	42.67
第3学年	11.78	17.37	29.26	34.08	28.13	10.17	134.70	15.98	42.29	第3学年	12.15	19.10	31.40	32.95	22.55	10.41	136.80	11.20	45.75
第4学年	17.07	19.16	30.67	41.41	44.28	9.67	150.57	22.53	52.21	第4学年	16.29	20.09	33.90	38.96	36.22	9.77	141.83	13.21	53.48
第5学年	17.68	20.42	33.29	46.26	58.03	9.19	158.39	26.90	57.68	第5学年	16.83	21.83	38.00	45.96	54.25	9.11	156.71	16.79	62.58
第6学年	23.07	25.62	41.23	49.38	68.50	8.82	173.31	27.79	65.10	第6学年	22.70	23.35	45.30	43.40	57.55	9.27	168.90	20.40	67.30

県平均値かつ全国平均値未満

平成29年度新体力テストの結果(県平均値(平成29年度)・全国平均値(平成28年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	11.64	14.48	27.96	25.32	15.52	11.40	108.88	8.68	32.04	第1学年	10.84	11.53	28.58	23.42	16.00	12.24	100.84	5.79	30.37
第2学年	11.85	16.77	27.27	35.42	38.77	10.18	131.92	15.08	43.04	第2学年	12.54	14.58	31.42	32.25	26.25	10.36	121.63	8.83	42.67
第3学年	11.78	17.37	29.26	34.08	28.13	10.17	134.70	15.98	42.29	第3学年	12.15	19.10	31.40	32.95	22.55	10.41	136.80	11.20	45.75
第4学年	17.07	19.16	30.67	41.41	44.28	9.67	150.57	22.53	52.21	第4学年	16.29	20.09	33.90	38.96	36.22	9.77	141.83	13.21	53.48
第5学年	17.68	20.42	33.29	46.26	58.03	9.19	158.39	26.90	57.68	第5学年	16.83	21.83	38.00	45.96	54.25	9.11	156.71	16.79	62.58
第6学年	23.07	25.62	41.23	49.38	68.50	8.82	173.31	27.79	65.10	第6学年	22.70	23.35	45.30	43.40	57.55	9.27	168.90	20.40	67.30

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題

- 1年生・3年生は、県平均値かつ全国平均値を下回る種目が多い。
- 「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値を下回る学年(男女別)が8つあった。(県平均値(平成28年度)・全国平均値(平成27年度)との比較)
- 20mシャトルラン(持久力)において、県平均値かつ全国平均値を下回る学年(男女別)が6つあった。(県平均値(平成29年度)・全国平均値(平成28年度)との比較)

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- 職員で研修を行い、体力向上に向けた取組を共有することで、各担任が児童の課題に応じた運動を体育の授業に取り入れるようにする。
- 朝の時間に放送を流し、全校で柔軟運動に取り組むことで、柔軟性を高める。また、「立位体前屈のチャレンジコーナー」に児童の記録を掲示することで、継続的に立位体前屈のチャレンジコーナーが活用されるようにする。
- なわとびチャレンジカードやマラソンチャレンジカードを全児童に配布し、目標をもって運動に取り組むことで、運動をする意欲を高め、持久力(体力)の向上を図る。
- 遊具を活用したサーキットトレーニングを設定し、体育の準備時間などで取り組むことで、体力の向上を図る。

平成30年度の目標値

- 「長座体前屈」において、全国・県平均値以上である学年(男女別)を9つ以上にする。
- 「20mシャトルラン」において、全国・県平均値以上である学年(男女別)を7つ以上にする。
- 総合評価がD・Eの児童の割合を5パーセント減らす(平成29年度は18.8パーセント)。
- 体力・運動能力検査における全国平均を上回る種目数70種目以上にする(平成29年度は70種目)。